

取 扱 注 意

解
禁

3月18日知事発表開始以降
県政記者クラブと調整済み

資料提供（平成23年3月18日）

課 名 人事課

担当者 佐 伯

電話（内線）513-（2239）

平成23年度 定期人事異動について

平成23年3月

 広 島 県

目次

I	基本的な考え方	1
II	異動規模	2
III	異動概要	
	(1) 戦略推進機能の強化	3
	(2) 現場機能の強化	3
	(3) 専門領域における民間経験者等の活用	4
	(4) 女性職員の積極的な登用	4
IV	適正な定員管理	5



I 基本的な考え方

- 広島県に新たな活力を生み出すために、「組織」が最大限の力を発揮できる体制づくりに努め、適材適所かつ戦略的な人事配置を行う。

主なポイント

- 戦略推進機能の強化
- 現場機能の強化
- 専門領域における民間経験者等の活用
- 女性職員の積極的な登用



Ⅱ 異動規模

➤ 例年並みの異動規模となっている。

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度
異 動 総 数	2, 1 4 3 人 (35.5%)	2, 2 0 5 人 (35.6%)	3, 4 0 4 人 (53.0%)

*対象範囲：教育委員会及び警察を除く全ての職員

*平成21年度の異動総数が多いのは、地方機関（地域事務所）の再編による

*職名のみの変更は対象外としている

※幹部(課長級以上)異動

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度
幹部異動（課長級以上）	1 7 1 人	1 6 8 人	1 6 3 人
うち局長級	3 人	9 人	2 人



Ⅲ 異動概要（１）

戦略推進機能の強化

- ～ 重要施策の企画立案機能及び総合調整機能を経営戦略審議官へ集約し，戦略企画チーム及び戦略推進課を設置
- ～ 二つの組織を束ねる経営戦略部長には経験豊富で調整能力が高い人材を配置
- ～ 戦略企画チームには若手で企画力に優れた政策監を２名配置
- ～ 総合調整を行う戦略推進課長には，視野が広く行動力の高い人材を配置

現場機能の強化

- ～ 施策マネジメントを担当する政策監を本庁及び地方機関に配置
- ～ 政策監には，推進力のある若手や経験豊富で調整力のある人材を配置
- ～ 本庁と地方機関，管理部門と事業部門での人事異動により，一体感を醸成



Ⅲ 異動概要（２）

専門領域における民間経験者等の活用

- ～ 戦略的広報を推進するため、広報総括監を非常勤特別職として民間から採用
- ～ 県立美術館の活性化、集客力の強化のため、専任の館長を非常勤特別職として採用
- ～ 客員スタッフの増員（４名→６名）

女性職員の積極的な登用

- ～ 将来の女性幹部職員育成のため、ポスト職への女性職員の配置を積極的に行う。

区分	平成23年度	平成22年度
ポスト職	180人	155人
部長級	3人	3人
課長級	7人	6人
その他	170人	146人

* 「その他」には、本庁の担当監，参事，GL，主査，地方機関の課長，係長等が含まれる。

IV 適正な定員管理

➤ 平成23年度 職員数の状況

- ◆ H23. 4. 1の一般行政部門職員数は、4, 625人となる見通しであり、102人(2. 2%)を削減
- ◆ 行政経営刷新計画(～H27)の定員管理目標(△427人)に対する進捗率は、23. 9%

一般行政部門職員数				備考
H22.4.1	H23.4.1	削減数	削減率	
4, 727人	4, 625人	△102人	△2. 2%	[定員管理目標の進捗率] 23. 9%

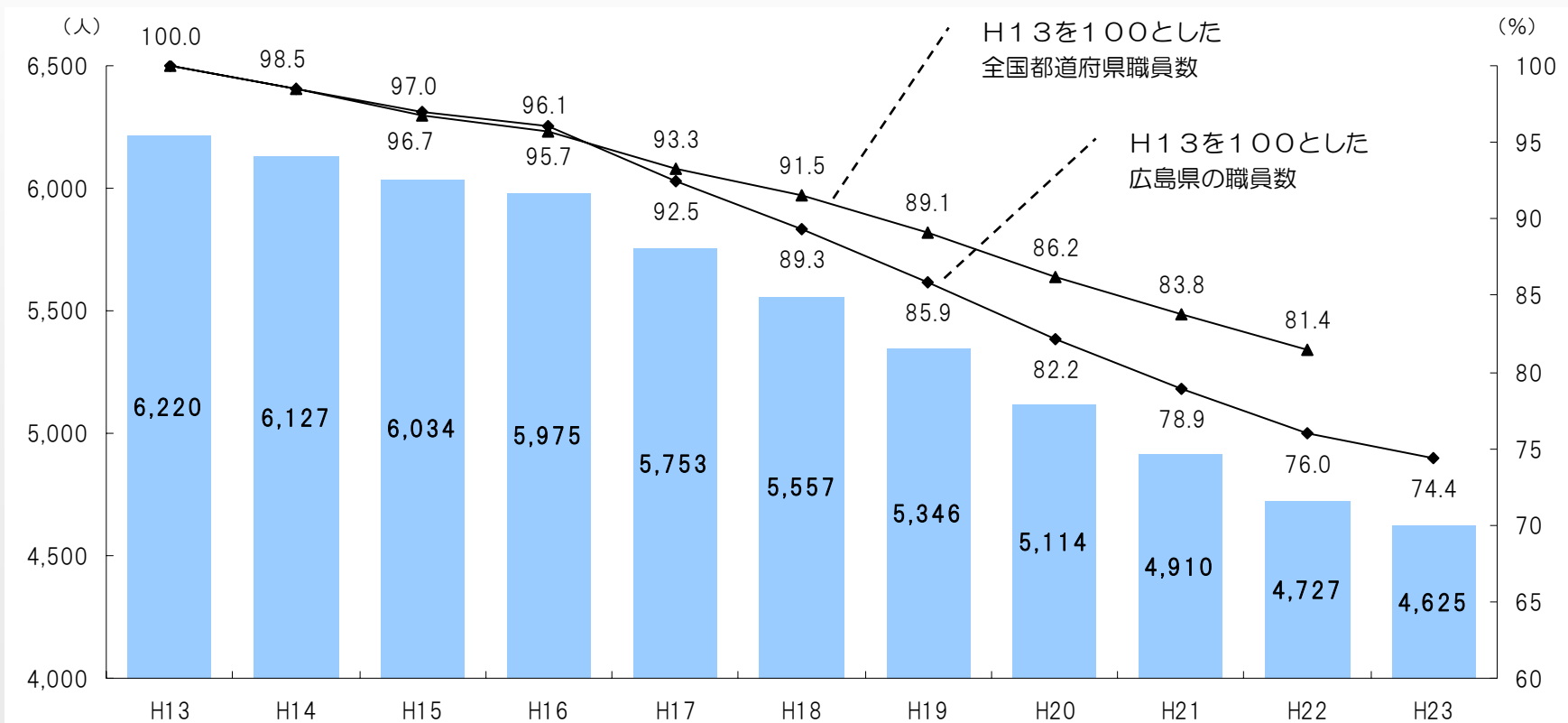
※1 一般行政部門職員数とは、一般職に属する常勤の職員のうち、公営企業（企業局、病院）及び教育・公安委員会を除き、その他の行政委員会を含む。

※2 H23.4.1の総職員数は現時点での見込み。

参考：全国との比較（総務省定員管理調査）

ポイント

◇ 過去10年間(H13～H22)の一般行政部門の削減ペースは、全国平均を5.4ポイント上回り、平成23年度の職員数は、平成13年度と比べ4分の3以下となる見通し



※ 棒グラフは、広島県の一般行政部門の職員数の推移を表したものの。